

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 746 号  
2023年 8月 1日  
発行  
アスカ工業株式会社  
〒444-0303  
西尾市中畑町卯新田上28

## 2022年度 アルミ缶リサイクル率 94%

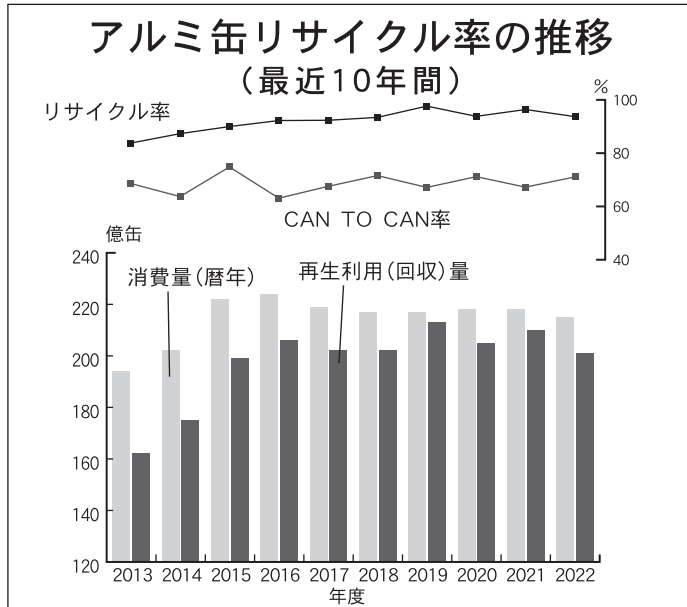
アルミ缶リサイクル協会（理事長・石原美幸氏）  
はこのほど2022年度のアルミニウム缶のリサイクル  
率を発表しました。

これによれば、

- ・アルミニウム缶再生利用重量  
248,325トン（162.9億缶）
- ・アルミニウム缶消費重量  
①国産アルミニウム缶 322,478トン（211.6億缶）  
②輸入アルミニウム缶 6,194トン（ 4.9億缶）

③輸出アルミニウム缶 1,864トン（ 1.2億缶）  
消費量総計 ①+②-③  
326,808トン（215.3億缶）

- ・再生利用重量  
248,325トン（国内）+58,471トン（輸出）  
=306,796トン（201.3億缶）
- ・リサイクル率  
 $\frac{\text{再生利用重量}(306,796\text{トン})}{\text{消費重量}(326,808\text{トン})} = 93.9\%$



- ・国内循環量でのリサイクル率  
 $\frac{\text{国内再利用重量}(248,325\text{トン})}{\text{消費重量}(326,808\text{トン})} = 76.0\%$
- ・CAN TO CAN率  
回収されたアルミニウム缶スクラップ  
のうち、アルミニウム缶材に利用され  
た割合。  
 $\frac{\text{缶材向け重量}(176,087\text{トン})}{\text{再生利用重量}(248,325\text{トン})} = 70.9\%$
- ・昨年度との比較  
アルミニウム缶国内循環量 + 1.2%  
アルミニウム缶輸出货量 -20.9%  
アルミニウム缶消費量 - 1.1%  
リサイクル率 - 2.7%  
CAN TO CAN率 + 3.9%  
「安定的に92%以上のリサイクル率  
を維持する」協会目標は7年連続で上回  
りました。

夏 季 休 日  
の ご 案 内

まことに勝手ながら下記のように連休とさせ  
ていただきますのでご案内を申し上げます。

8月12日(土)より  
8月20日(日)まで

## 2023年アルミニウム缶需要 213億缶を予測

アルミ缶リサイクル協会はこのほど、2022歴年（1～12月）の飲料用アルミ缶の需要実績と2023歴年の需要予測の需要予測を発表しました。

2022歴年の国内飲料用アルミ缶需要見込みは、対前年比1.1%減の215.3億缶になるも9年連続で200億缶の大台を維持しました。

国産缶は211.6億缶で同比1.0%の減で、内訳を分野別でみると、ビール類（発泡酒・新分野含む）は91.2億缶で同比3.1%の減でした。国内ビール類の総需要は前年割れが続きますが、ビール類系の缶需要は外飲み増加の影響もあり引き続き微減にとどまりました。

その他アルコール向けは対前年比1.4%減の50.8億缶、非アルコール向けは69.6億缶で2.1%増の見通しです。

2023年の飲料用アルミ缶需要は、国産缶の出荷量は前年比1.0%減の209.4億缶との見通しです。アルミ缶の需要を支えてきたビール向けは、89.0億缶と2.4%の減少になりそうです。レディ・トゥ・ドリンク（RTD）などのその他アルコール向けは、50.8億缶で前年横ばいを見込みます。清涼飲料系の非アルコール向けも、横ばいの69.6億缶の見通しです。

### 日本の飲料用アルミニウム缶需要量（1～12月）

（単位：億缶、カッコ内は前年比%）

暦 年		2021年実績	2022年見込み	2023年予測	
A 国産缶 出荷量	ビール(発泡酒・新分野含む)	94.1 ( 98.8)	91.2 ( 96.9)	89.0 ( 97.6)	
	ビール 以外の 飲 料	その他のアルコール	51.5 (106.0)	50.8 ( 98.6)	50.8 (100.0)
		非アルコール	68.2 ( 99.0)	69.6 (102.1)	69.6 (100.0)
	ビール以外の飲料計		119.7 (101.9)	120.4 (100.6)	120.4 (100.0)
	小 計		213.8 (100.5)	211.6 ( 99.0)	209.4 ( 99.0)
	(うちボトル缶数量)		22.2 ( 99.6)	23.2 (104.5)	24.0 (103.4)
B 空 缶 輸 入 量		0.9 ( 50.0)	0.6 ( 66.7)	0.6 (100.0)	
C 実 缶 輸 入 量		4.1 (102.5)	4.3 (104.9)	4.3 (100.0)	
D 実 缶 輸 出 量		1.0 (166.7)	1.2 (120.0)	1.2 (100.0)	
E 国内需要量計 (A+B+C-D)		217.8 (100.0)	215.3 ( 98.9)	213.1 ( 99.0)	

## 令和4年度 アルミニウムと珪素の輸入

このほど令和4年度（令和4年4月から令和5年3月まで）のアルミニウムと珪素の輸入通関実績が下記のように発表されました。（単位 トン）

輸入数量を品目別に前年度と比べると、

アルミニウム地金	85.6%
合金地金	90.3%
アルミと合金のくず	115.3%
珪素	85.4%

と、アルミ・アルミ合金スクラップ以外の輸入量は減少しました。

コロナ禍における生産調整が続く中、輸入量全体も調整しつつの一年でした。

ロシア・ウクライナ情勢の緊迫が続く中、合金地金の貿易相手国がロシア依存から少しずつ変化がありました。

### 令和4年度アルミと珪素の輸入通関実績

	令和4年度	令和3年度		令和4年度	令和3年度
<b>A. アルミ地金</b> (99.0以上)			<b>C. アルミとアルミ合金くず</b>		
①オーストラリア	309,742	368,769	①アメリカ	33,788	26,810
②ロシア	246,559	217,096	②台湾	16,123	13,660
③ブラジル	137,790	137,741	③メキシコ	5,891	4,039
④ニュージーランド	128,436	128,993	④マレーシア	5,538	4,419
⑤サウジアラビア	116,919	142,828	⑤韓国	4,610	6,549
⑥U A E	100,278	178,789	⑥カタダ	3,588	2,472
⑦南アフリカ	65,309	46,141	⑦イタリア	2,911	3,001
⑧マレーシア	51,146	61,659	⑧オーストラリア	1,760	1,611
⑨インド	41,286	94,018	⑨イギリス	1,595	3,635
⑩バーレーン	34,859	64,146	⑩イスラエル	1,458	789
⑪その他	28,007	31,886	⑪その他	13,888	12,036
⑫合計	1,260,331	1,472,066	⑫合計	91,150	79,021
<b>B. 合金地金</b>			<b>D. 珪素</b>		
①U A E	274,817	249,067	①中国	137,836	180,036
②中国	146,079	94,686	②ノルウェー	16,109	19,000
③ロシア	105,843	266,339	③ブラジル	13,803	10,293
④ナイジェリア	76,570	70,735	④オーストラリア	10,790	7,358
⑤インド	72,349	54,911	⑤ラオス	6,480	1,780
⑥マレーシア	49,926	61,948	⑥マレーシア	5,964	5,129
⑦オーストラリア	46,605	50,498	⑦韓国	422	12
⑧ニュージーランド	41,411	36,175	⑧フランス	370	100
⑨カタール	41,010	27,414	⑨ロシア	80	480
⑩台湾	34,996	29,997	⑩カザフスタン	42	0
⑪その他	136,430	194,557	⑪その他	94	710
⑫合計	1,026,036	1,136,327	⑫合計	191,990	224,898

## 大提灯まつり

西尾市一色町の諏訪（すわ）神社で、8月26日、27日天下の奇祭「大提灯まつり」が行われます。

その昔、この辺りの海岸に出没した海魔の退散を祈願した大かがり火が起源と伝えられ、12張りの大提灯に大口ソクで点火する時が最高潮。(写真)



## 社内情報

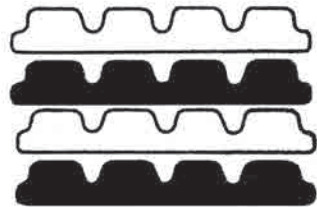
- ◎夏季休日を1頁のご案内のように行いますので、ご協力の程よろしくお願い致します。
- ◎7月18日に久しぶりに「ソウメン」ランチ給食が行われました。酷暑の中、タイムリーな企画をありがとうございました。
- ◎大型扇風機、換気扇の設置で新たに工場内に風を作りをしています。どの程度の温度変化が出てくるか楽しみです。

## 編集後記

- ☐暑中お見舞い申し上げます。
- ☐北半球の世界各地で猛暑を記録しています。世界の平均気温が7月3日に17.01℃に達し、観測史上最高温度を記録しました。
- ☐インドで開催されたG20エネルギー相会合は共同声明が見送られました。「グローバルサウス」での脱炭素化と経済成長の両立は簡単ではありません。
- ☐アルミニウム合金協会理事会は屋形船懇親会を再開。

## アルミ缶リサイクリング 铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)  
**アスカ工業株式会社**

〒444-0303  
愛知県西尾市中畑町卯新田上28  
TEL <0563> 77-0500(代)  
FAX <0563> 77-0501  
<http://www.al-asuka.jp/>